

款 7 商工費

項 1 商工費

目 1 商工総務費

決 算 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他の	一般財源
511,885,405 円	円	円	円	8,152,000 円	503,733,405 円

2 商工一般事務事業

予算現額 38,204,000 円
 事業決算額 37,382,213 円
 予算執行率 97.8 %

《 事業概要 》

東分庁舎（センター・パレス2階のうち商工観光部使用部分）に係る賃借料、共益費の支払いをはじめ、商工観光部の事務経費等の執行管理を行った。

《 事業評価 》

適正な執行管理に努めた結果、商工観光部の円滑な事務運営に寄与することができた。

担当 産業政策振興課

款 7 商工費

項 1 商工費

目 2 商工業振興費

決 算 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他の	一般財源
1,090,884,532 円	23,600,000 円	12,891,250 円	円	18,149,691 円	1,036,243,591 円

1 商工業振興事業

予算現額 485,976,957 円
 事業決算額 468,336,448 円
 予算執行率 96.4 %

商工業の振興、物産の振興並びに中心市街地活性化に関する業務のほか、小規模事業者に対する融資対策業務等を行った。

(1) 商業振興事業

《 事業概要 》

各商業団体等が実施する集客事業及びイベント事業のほか、空き地・空き店舗対策事業などに対する補助金の交付を行うとともに、市営駐車場の30分無料化の実施やまん中交流館、まん中広場及びセンター・パレスホールの運営など、津市の商業及び物産の振興並びに中心市街地の活性化に係る事業を行った。また、小規模事業者の資金の調達を円滑にし、経営の安定及び発展を図ることを目的として、県の実施している小規模事業資金融資等を受けた対象者に対し、融資時に必要となる信用保証料についてその全額を補給金として交付した。

商業振興事業補助金交付実績

件数 (件)	金額 (円)
29	22,351,000

定額給付金特別セール（定額給付金記念・地域元気セール事業）事業補助金

参加店舗数 (店)	金額 (円)
約500	15,000,000

津市物産まつり

開催日	開催場所	参加人数(人)
5月17日	大門大通り商店街アーケード	20,000

小規模事業資金融資等に係る信用保証料

件数(件)	金額(円)
84	16,480,667

市営駐車場30分無料化実績

区分	利用実績(台)
アスト駐車場	294,836
フェニックス通り駐車場	176,064

センターパレスホール利用状況

利用者数(人)	稼働日数(日)
29,300	193

まん中交流館利用状況

利用件数(件)	利用者数(人)
2,006	61,079

工事名	施工場所	工事内容	金額(円)
センターパレスホール演出調光設備改修工事	津センターパレス5階	調光設備改修工事	21,913,500

《事業評価》

商店街等が実施する集客事業及びイベント事業に対する助言や補助金の交付等を行ったことにより、商店街及び中心市街地の活性化や賑わいの創出に寄与するとともに、津市物産まつりの開催等により本市の物産品及び特産品のPRを効果的に行うことができた。また、三重県における小規模事業資金融資等に係る信用保証料について補給金を交付することにより、小規模事業者の資金調達の円滑化と経営の安定化を図ることができた。

担当 商業労政振興課

(2) 工業振興事業

《事業概要》

地域産業の活性化を目的に、中小企業が行う新技術・新製品の開発や人材育成を支援する「中小企業振興事業補助金」の交付を行ったほか、将来の地域産業の担い手となる人材の確保に向け、小学生を対象とした「わくわく津市の工業体験」や、高校生を対象とした「高校生向け企業セミナー」を開催した。また、メカトロ関連産業の技術向上・集積に向けた取り組みを三重県等関係機関と進め、専門家による企業訪問やマッチング、専門的なセミナーの開催により、市内企業への技術導入の有用性の啓発とメカトロ技術の開発に取り組む企業の掘り起しにつなげている。

中小企業振興等関係事業補助金

区分	件数(件)	金額(円)
新技術・新製品開発	1	1,790,000
人材育成	4	412,000

わくわく津市の工業体験

参加人数(人)	訪問企業数(社)
82	6

高校生向け企業セミナー

参加人数（人）	出展企業数（社）
96	16

《事業評価》

メカトロ技術活用関連業種の技術開発力の向上・集積に向けた取り組みについては、三重県、三重県産業支援センターと連携して、専門家の企業訪問やセミナーなどを行うことにより、メカトロ導入による生産性向上についての認識が高まり、生産現場における共通認識と課題解決に必要な技術を明らかにすることことができたことから、今後の企業間マッチングやメカトロ技術の共同開発の促進が期待される。

このほか、「わくわく津市の工業体験」や「高校生向け企業セミナー」については応募者、参加者が徐々に増えてきており、製造業への理解が広がっていると思われ、また、新技術・新製品の開発や人材育成に取り組む中小企業への支援である補助金制度の活用事例も出てきているなどから、徐々にではあるが市内製造業の企業に効果は表れていると思われる。

(3) 産業振興センター設置運営事業

《事業概要》

本市における産業振興の拠点として、中勢北部サイエンスシティあのつピア内に産業振興センターを設置し、コーディネーター等の企業訪問による情報収集等を中心とした業務を行った。

訪問実績

訪問回数（回）	訪問企業数（社）
133	73

《事業評価》

コーディネーターの企業訪問等によって、中小企業の様々な課題・問題点の把握に努め、市内企業の基礎情報の収集を図るとともに、各種制度・セミナー等の情報提供を行うことができた。

担当 産業政策振興課

2 地域物産活性化促進事業

予算現額	2,956,243 円
事業決算額	2,956,243 円
予算執行率	100.0 %

《事業概要》

豊かで良質な資源に恵まれた「津の食」の良さを多くの人に知っていただくため、第3回食彩フェスタinつを開催した。

事業名	開催日	開催場所	参加人数（人）
第3回食彩フェスタ in つ	1月11日	メッセウイング・みえ	30,000

《事業評価》

第3回食彩フェスタinつの実施により、「津の食」の良さを市内外を問わず多くの方に知っていただくとともに、「食」を通じた津市のPRと地域振興を行うことができた。また、地産地消や食育の推進も図ることができた。

担当 商業労政振興課

3 企業誘致活動事業

予算現額	594,327,800 円
事業決算額	592,548,222 円
予算執行率	99.7 %

産業振興拠点である中勢北部サイエンスシティとニューファクトリーひさい工業団地の早期完売に向け、積極的な誘致活動を行うとともに、早期の立地決定や設備投資意欲を促進するため、津市企業立地促進条例に基づく奨励金を交付した。

(1) 企業誘致活動事業

《 事業概要 》

誘致活動により、中勢北部サイエンスシティへ1社、約0.2haの分譲を行った。

《 事業評価 》

本社機能が集中する首都・中京・関西の三大都市圏への企業訪問をはじめ、産業人交流会議や企業展へのPRブース出展、インターネット広告など、様々な手法・機会を捉えて効果的にタイムリーな誘致活動を展開することができた。

(2) 企業立地奨励金交付

《 事業概要 》

本市への企業の立地を促進するため、津市企業立地促進条例（平成18年 津市条例第311号）に基づき、指定事業者に対し、奨励金を交付した。

区分	件数(件)	金額(円)
津市企業立地促進条例 (平成18年 津市条例第311号)	19	529,354,100
津市企業立地促進条例 (平成10年 津市条例第1号) (津市企業立地促進条例の附則 の規定に基づく経過措置による)	7	50,363,600
安濃町地域振興の奨励に関する条例 (昭和63年 安濃町条例第19号) (津市企業立地促進条例の附則 の規定に基づく経過措置による)	2	2,580,100
合計	28	582,297,800

《 事業評価 》

立地予定企業の負担を軽減することにより、企業進出を促進し、産業の振興に寄与することができた。

担当 産業政策振興課
企業誘致室

4 工業用地維持管理事業

予算現額 11,438,000 円
事業決算額 10,643,368 円
予算執行率 93.1 %

《 事業概要 》

産業振興拠点である中勢北部サイエンスシティ及びニューファクトリーひさい工業団地の分譲用地等を、各事業主体と連携のもと定期的な維持管理を行った。

《 事業評価 》

工業団地の適正な維持管理を行うことにより、団地の品質保持と企業誘致の促進に寄与することができた。今後も企業誘致活動を有利に展開するため、商品価値の向上に努めていく。

担当 産業政策振興課
企業誘致室

5 久居駅東口駐車場維持管理事業

予算現額 4,586,000 円
事業決算額 4,509,001 円
予算執行率 98.3 %

《 事業概要 》

近鉄久居駅東口隣接という利便性から、通勤者や駅周辺利用者の駐車場需要に対応した、自動精算システムの公共駐車場として維持管理を行った。

施設名	利用台数（台）
久居駅東口駐車場	74,731

《事業評価》

駅利用者及び駅周辺における駐車場需要に対応でき、この地域の集客の促進を図った。また、駅周辺における道路の効用保持と円滑な道路交通の確保を図ることができた。

担当 久居・地域振興課

6 ふるさと雇用再生特別基金事業

予算現額	5,501,000 円
事業決算額	4,751,250 円
予算執行率	86.4 %

厳しい雇用情勢が続くなか、国、県、市町村が一体となって雇用機会の創出に取り組むふるさと雇用再生特別基金事業を活用して次の2事業を行い、新たな雇用の創出を図った。

(1) 地域資源活用ビジネスモデル開発事業

《事業概要》

市外・県外、更には全国展開できる物産や一次産品等を発掘調査し、新たな商品化のコンサルティング及び販路開拓支援を行った。

《事業評価》

新規に2名を雇用し、物産等の商品の詳細な調査を行うとともに、商品のアンケート調査を実施し商品の市場性の検証を行い、このことを踏まえた特長のある製品づくりとその販路開拓などの支援を行った。

(2) 知的財産活用コーディネーター事業

《事業概要》

市内企業等に向けた知的財産活用のための人材を確保し、产学研官連携の枠組みにより、知的財産活用に係る情報提供を行い知的財産ニーズを調査するとともに、その有効活用や研究成果の知的財産化などを支援し、知的財産活用意識の醸成を図った。

《事業評価》

新規に1名を雇用し、域内企業への訪問調査やセミナー等での情報収集などを行うとともに、大学等の特許の調査、特許塾の開催などによる普及活動を行い、知的財産の活用を推進することができた。

担当 産業政策振興課

7 緊急雇用創出基金事業

予算現額	7,226,000 円
事業決算額	7,140,000 円
予算執行率	98.8 %

《事業概要》

中心市街地の活性化のための新たなコミュニティやネットワークづくりの推進を図ることなどを目的として、まん中交流館を拠点として中心市街地に人が集い滞留するシステムづくりを行った。

《事業評価》

新規に4名の雇用を行うことにより、まん中交流館において、各種交流イベント及び各種起業セミナー等の実施や、ハコチカ（手作り品の委託販売と一部売上金の市民団体への寄付事業）の開始に向けての準備・取組みなどを行い、中心市街地における市民の交流機会及び賑わいの創出を図ることができた。

担当 商業労政振興課

決 算 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
382,022,656 円	18,609,000 円	21,127,439 円	円	171,356,575 円	170,929,642 円

1 観光振興事業

予算現額 117,901,000 円
 事業決算額 117,482,266 円
 予算執行率 99.6 %

観光資源の環境整備を行うとともに、各種イベントによる観光客誘致、誘客向上につながるシティプロモーション事業に、津市観光協会等と連携し、本市の魅力発信を積極的に推進した。

(1) 観光振興事業

観光資源である潮干狩りや海水浴場、青山高原の環境整備に努めるほか、観光振興のためのイベントや組織、団体への支援を行い、観光客誘客を図った。

ア 主な観光資源の環境整備

《 事業概要 》

御殿場海岸等の潮干狩りや海水浴場での観光客への案内他便宜を図るとともに、監視及び救護体制の業務委託や枯れ松伐採、青山高原のツツジ育成などの環境整備を行った。

委託名	委託内容	金額 (円)
海水浴場監視等業務委託	潮干狩り、海水浴場の監視等安全管理業務	10,833,600
青山高原ツツジ育成業務委託	植栽用ツツジの苗木育成業務	299,250

《 事業評価 》

津の海への観光レクリエーション入込客数319,000人の安全確保に努め、また青山高原の観光資源の充実を図るなど、既存の観光資源の環境整備を図ることができた。

イ 主な事業補助

《 事業概要 》

津市の観光振興を目的とする各団体への事業費補助、当課と連携したPR活動を行った。また、誘客事業に取り組む太鼓団体への活動助成を行った。

団体名	主な事業	金額 (円)
津市観光協会	津春まつり、津の海諸行事 各地域桜まつり協賛 パンフレット、イメージポスター作成、 県外キャンペーン	36,000,000
榎原温泉振興協会	観光客誘致、ほたるコンサート、環境美化	8,300,000
津高虎太鼓	コミュニティ助成事業(津高虎太鼓備品購入事業)	2,500,000

《 事業評価 》

津市の魅力を発信するために各団体と連携するとともに、各団体への事業補助を行い、県内外や各種イベントでの「津市のPR」を行うことができた。

ウ 各種イベント実行委員会補助

《 事業概要 》

各種イベントの実行委員会に補助を行い、実行委員会がイベントを主催することで、住民・団体・行政が一体となったイベントの実施と「津市のPR」を行った。

イベント名	開催日	開催場所	来場者数(人)	金額(円)
津花火大会	8月8日	阿漕浦海岸	130,000	9,000,000
ビーチバレーin御殿場	7月26日	御殿場海岸	5,000	4,500,000
津まつり	10月10~11日	市役所周辺	390,000	23,500,000
津の街音楽祭	2月28日	白山町	500(応募者54組)	12,000,000

《事業評価》

津花火大会は、夏の風物詩として大正時代から続くイベントであり、多くの市民・企業等の協賛に支えられ、市内外からの来客で賑わい、本市の観光客誘致に寄与することができた。

ビーチバレーin御殿場は、14回目で、国内における3人制のビーチバレー大会としては、最大級のイベントに成長し、関東、関西等県外からの出場者も多く、御殿場海岸をはじめとする本市の魅力発信に寄与することができた。

津まつりは、合併後の一体感醸成に寄与すると共に、市民参加の多彩な演目や非営利団体ブース、県内外からのゲスト参加など、他に見られない総合フェスティバルとしての魅力に溢れ、本市最大のイベントとして多数の観光客を誘致できた。

津の街音楽祭は、アマチュアミュージシャンを対象に、優勝者への賞品を活動資金等として公募を行なったこところ、県内外から応募があり、また、2次審査において一般の方が参加するインターネット投票を実施し、そのPR効果によって、本市の認知度を若者層を中心に高めることができた。

(2) シティプロモーション関係事業

《事業概要》

県内外への観光PRキャンペーンを展開するとともに、観光関連協議会等へ参加し、県内及び隣接する奈良県内の市町村との連携を行った。また、観光商品の開発に向けたマーケティング調査や外国人誘客用パンフレットの作成等、近年の観光ニーズに対応した事業展開に積極的に取り組んだ。一方、本市の魅力の再発見を図ることを目的に、住民主体の協議会に対する支援や観光ボランティアガイド等の育成を行った。

事業名称	件数(件)	金額(円)
観光誘客事業支援業務		1,000,000
観光ボランティア育成事業		401,520
海外誘客パンフレット作成業務		2,499,000
コンベンション開催支援補助事業	4	1,200,000
広域観光連携事業		930,000

《事業評価》

大都市圏や県内外で行われるイベント会場等で観光キャンペーンを行い、本市の魅力ある観光資源をPRし認知度を高める取り組みを行いつつ、伊賀市、名張市との間で「名張・伊賀・津観光振興協議会」を立ち上げ、広域資源を活用しての新たな魅力づくりや関西圏を中心とした3市協働によるPR活動を展開した。また、白山地域において観光ボランティアガイド「白山道しるべの会」の立ち上げを支援し、地域住民を主体とした観光振興・地域振興のきっかけを作ることができた。

担当 観光振興課

2 地域間交流促進事業

予算現額	2,888,000 円
事業決算額	2,887,500 円
予算執行率	100.0 %

《事業概要》

9月から12月上旬の土・日・祝日に、なぎさまち・中心市街地と津北西地域（美里・芸濃・安濃・久居）を結ぶ無料のバスを運行し、「歩く」をコンセプトにまちなみ、史跡、自然を活かしたウォーキング等のコースを設定した。また、利用客の利便性を勘案しバス運行ルートを2コース（左回り、右回り）設定した。

区分	乗車人数(人)		1日平均(人)	
	左回り	右回り	左回り	右回り
第1便	886	843	26.1名	24.8名
第2便	395	640	11.6名	18.8名
合計	1,281	1,483	37.7名	43.6名

《事業評価》

まち歩きシステムの整備を行うため、観光拠点施設・駅等を巡るループバスを運行し、「歩く」楽しさ、「体験する」楽しさ、「学ぶ」楽しさを体感するイベントを「津らくらくフェスタ」と称し、点在する観光資源や施設を利用しながら、域内交流の促進を図ることができた。

担当 観光振興課

3 地域資源活性化推進事業

予算現額	1,910,000 円
事業決算額	1,908,277 円
予算執行率	99.9 %

《事業概要》

森林や歴史的遺産等の地域特有の資源を活かし、人間の心身の健康にも配慮した新しい観光スタイルのヘルステーリズムの推進を図るために、まち歩きシステムと二地域居住及び定住促進のシステムの確立を行った。

《事業評価》

昨年度認定を受けた森林セラピー基地をグランドオープンし、PRポスターやグランドオープンセレモニーを実施した多気北畠拠点用のパンフレットを作成し、PR活動により交流・集客の促進を図ることができた。また、昨年度と同様に田舎暮らし体験塾の開催を行った。今後は、この取り組みの一層の発展を図るために、地域と一体となった取り組み強化を図っていく。

担当 観光振興課

4 観光施設維持管理事業

予算現額	259,098,000 円
事業決算額	250,205,174 円
予算執行率	96.6 %

《事業概要》

神原自然の森温泉保養館「湯の瀬」をはじめ、錫杖湖水荘、レークサイド君ヶ野の宿泊施設、キャンプ場などの観光施設の運営及び維持管理を行った。また、御殿場海岸の臨時駐車場、東海自然歩道、錫杖湖畔の桜等の施設、環境整備を行った。

神原自然の森温泉保養館利用状況

区分	年間利用者数(人)	
	12歳以上65歳未満	68,831
大人	65歳以上	114,979
	12歳未満	9,960

錫杖湖水荘利用状況

区分	年間利用者数(人)
湖水荘(宿泊)	728
湖水荘(日帰り)	17,153

レークサイド君ヶ野利用状況

区分	年間利用者数(人)
レークサイド君ヶ野(宿泊)	890
レークサイド君ヶ野(日帰り)	18,872

その他観光施設利用状況

地域	主な施設名	年間利用者数(人)
津	阿漕塚記念館	3,922
一志	矢頭中宮キャンプ場	867
白山	青山高原保健休養地	11,398
美杉	スカイランドおおぼら	2,029
美杉	道の駅美杉	39,758
美杉	ヒストリーパーク塚原	2,680

委託名	委託場所	委託内容	金額(円)
東海自然歩道施設整備委託	美杉町内東海自然歩道(森林セラピーコース内)	観光案内看板・休憩所設置	6,649,650

工事名	施工場所	工事内容	金額(円)
御殿場駐車場整備工事	御殿場海岸	整地工等土木一式	16,175,093
錫杖湖キャンプ場通路防滑工事	芸濃町錫杖湖キャンプ場	防滑工事	3,475,533

《事業評価》

施設の老朽化、個人消費の伸び率の低迷、レジャーの多様化、近年の少子化等各施設を取り巻く状況は厳しいが、各施設において、施設の改修や新しいサービスの提供などを行い、利用者増、使用料収入増への工夫を重ねていく。

担当 観光振興課

5 ふるさと雇用再生特別基金事業

予算現額	3,086,000 円
事業決算額	3,085,950 円
予算執行率	100.0 %

《事業概要》

市内地域に点在する観光資源を巡ることにより郷土の魅力を再発見するとともに域内交流をはじめとする交流人口の拡大につなげるために無料バスの運行を行った。

《事業評価》

新規に1名を雇用し、50回の無料バス運行を行い、市内外から709名の利用を図ることができた。利用者の観光資源への関心度が増し、事業継続の要望も多くあり、また各地域で活動するボランティアガイド団体との連携も行われ、地域の活性化も図ることができた。今後は、新たな観光資源の発見やアクセス港や津駅等の交通結節点を起点とした県内外からの誘客を図っていく。

担当 観光振興課

6 緊急雇用創出基金事業

予算現額	6,673,000 円
事業決算額	6,453,489 円
予算執行率	96.7 %

《事業概要》

海岸や登山道、観光客誘客施設などの観光地美化作業等のほか、津花火大会、津まつりなどの大型イベントにおける清掃、交通誘導等を行った。

《事業評価》

新規に6名の雇用を行うことにより、観光資源等の環境美化、市営観光誘客施設等の環境整備、イベントにおける美化清掃、スムーズな観客誘導等に大いに効果があった。

担当 観光振興課